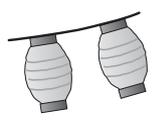


まちがどスナツプ



夏の暑さを吹き飛ばすかのよう、威勢のよい掛け声のなか、『こだま夏まつり』が7月16日に、『本庄祇園まつり』が22日・23日に行われ、たくさんの見物客でにぎわいました。また、台町の獅子舞も15日・16日の2日間、市内数か所で奉納されました。



ぼくもわたしもがんばりました

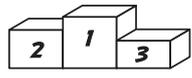
6月24日、エコーピアにおいてチャレンジランキング大会が開催され、96人の子どもたちが各種目で頂点をめざして競い合いました。



缶積み



フリスビー



市長コラム しんげの一言メッセージ

市民プール閉鎖について

昭和48年以来33年間にわたって親しまれてきた市民プール。近年老朽化がひどく、入場者数も減少しています。(平成6年9万人→平成17年2万7千人)

老朽化については、漏水(箇所が不明)や浄化タンク・ポンプの故障、場内敷石などの破損、鉄骨の腐食、ロッカーや券売機の故障などで、今後プールを安全に維持し続けるには、緊急を要する修繕費が約5,500万円、今後の維持管理費を合わせると約1億円の経費がかかるとの試算が出ました。

私としても、いずれプールは閉鎖せざるを得ないと感じていました。しかし、長らく市民に親しまれたプールです。閉鎖するにはあらかじめ皆さまにお伝えしなければならない、そこで当初は来年の夏をもって最後とし、今期のプールが終わった後、そのことを発表する予定で考えておりました。

しかし、今年開場したところ、予想以上の老朽化が進行していました。たとえば、1時間1tもの漏水の量が1.5tになりつつある、ポンプも修理すると、また別のものが故障するなどです。仮に来年オープンさせようとしても、不測の事態が起きるかも知れません。したがってその修繕費は未知数であり、多額になった場合財政状況から言ってあきらめざるを得ないことも予想されます。そこで来年の開場にかかるより、現時点で、今期をもって閉鎖ということを決断し、議会に報告し、市民の皆さまにお伝えすることになった次第です。突然の発表に驚かれた方もいらっしゃると思いますが、なにとぞご理解をいただきたくお願いいたします。

私自身、市民に長い間親しまれた施設を閉鎖せざるを得ないのは本当に残念です。今後の跡地利用については、財政状況をふまえて、皆さまのご意見をいただきながら考えていきますのでよろしくお願いいたします。なお、さよならイベントでいくつかの企画も用意しました。思い出の市民プール、最後にぜひお出かけください。

本庄市長 **吉田信解**

7月8日にインボイスSEIBUドームで行われた本庄市民応援デーでは高山裕太くん(中央小6年)が、前日の7日には小柏格くん(本庄東小6年)が始球式を行いました。



高山裕太くんによる始球式

市民応援バスツアーでプロ野球を満喫



また、8日に実施した市民応援バスツアーには350人の市民が参加し、迫力ある試合(西武ライオンズ対北海道日本ハムファイターズ戦)を満喫しました。



また、8日に実施した市民応援バスツアーには350人の市民が参加し、迫力ある試合(西武ライオンズ対北海道日本ハムファイターズ戦)を満喫しました。



秋には菊の花でいっぱいになります

7月7日・8日にふるさとフラワーパークで菊の苗の植え込みが行われました。



ボランティアによる植え込み(7/8)



本庄西小の児童による植え込み(7/7)



サルビアの鉢植えが届きました



児玉白楊高校のみなさん

6月23日、児玉白楊高等学校の生徒から「花いっぱい運動」として、総合支所など市内13か所の施設にサルビアの鉢植えが届けられました。

野鳥の詩 うた

ハクセキレイ <全長21cm>

- 鳴き声 「ツツツ」とか「チチン」
- 撮影地 久々宇裏利根川河川敷



ハクセキレイが飛んでいるトンボを捕まえ小石の上に落とす直後の画像です。

正に早業、ゲットの瞬間は撮影できませんでした。

この後、両方の羽を器用にもぎ取り頭から丸呑みし、満足そうに水を一口嘍り、空中高く舞い上がり何処かへ消え去りました。

文・写真 町田好一郎